10. サスペンション

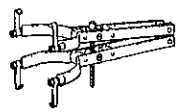
1 フロント　サスペンション

変更概要

低圧ガス封入式ショツク　アブソーバ採用により交換要領が変更されました。
（GA，MA系のみ）

1-1 低圧ガス封入式ショツク　アブソーバ

〔準備品〕

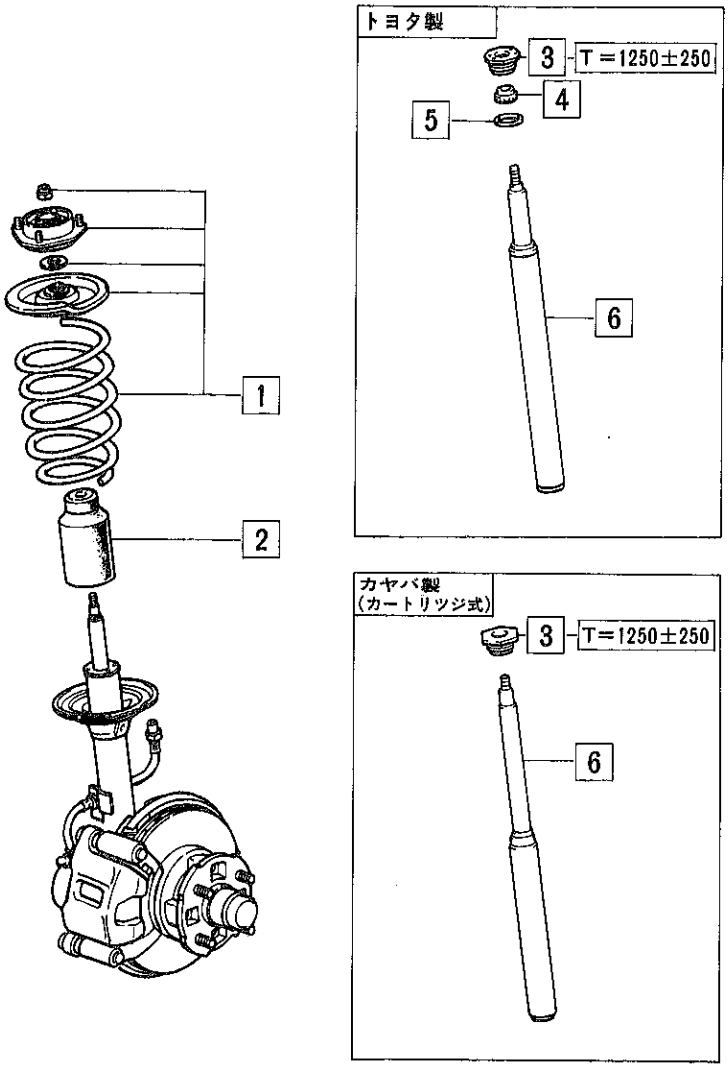
SST	 09720-00011 ツール　セツト，ショツク　アブソーバ　オーバーホール	リング　ナツト脱着用（09721-00071） ショツク　アブソーバのバイス固定用（09721-00080）
	 09727-22031 コンプレツサ，フロント　コイル スプリング	コイル　スプリング圧縮用
	 09729-22021 ホルダ，フロント スプリング アツパ シート	サポート　ナツト脱着用
	 09751-60010 レンチ，ブレーキ チユーブ ユニオン ナツト	ブレーキ チユーブ　ユニオン ナツト脱着用
工　具	ドリル	低圧ガス　ショツク廃却時穴あけ用
計　器	トルク　レンチ	各部締め付け用
油　脂	キヤツスル　MP　グリース　No.2	各部塗布用

〔再使用不可部品〕

ナツト，セルフ　ロツク（FIG，48-03　48680A）　シール，ダスト（FIG，48-03　48680D）

無断複製禁止

シヨツク　アブソーバ　&　コイル　スプリング分解，組み付け



〔締め付けトルク単位：kg-cm〕

作業手順

1	スプリング，フロント　コイル（セリカ　修理書 S3-2参照）	（要点1）	3	ナット，シヨツク　アブソーバ　リング	（要点4）
	(管) フロント　コイル　スプリング点検	（要点2）	4	シール，オイル	
2	バンパ，フロント　スプリング		5	ガスケット	（要点5）
	(液) シヨツク　アブソーバ　ASSY作動点検	（要点3）	6	アブソーバ，シヨツク　フロント	（要点6）

図10-1-1　シヨツク　アブソーバ　&　コイル　スプリング分解，組み付け　B9490

無断複製禁止

要　点

1　コイル　スプリング取り付け

(1)取り付け前に左右の色分けを確認する。

①識別マークはスプリング下端より2および3巻目に塗色してある。

車　種		GA61	MA61, 63
塗色	運転席	3巻目　クリーム(1個)	3巻目　クリーム(1個) 2巻目　クリーム(1個)
	助手席	3巻目　白　(1個) 2巻目　橙　(1個)	3巻目　クリーム(1個)

2　フロント　コイル　スプリング点検

(1)自由長を測定する。

基準値

車　種		GA61	MA61, 63
自由長(mm)	運転席	349.5	354
	助手席	345	349.5

3　ショツク　アブソーバ　ASSY作動点検

(1)ショツク　アブソーバのピストン　ロツドを一定の速度で押し込む。

基準　1　全ストロークの重さが一定である
2　異常な手ごたえ，異常音がない

(2)ピストン　ロツドを急激に5～10mmのストロークで上下に動かす。

基準　1　重さに変化がない
2　異常な手ごたえ，異常音がない

4　リング　ナツト脱着

(1)リング　ナツトの色によりトヨタ製とカヤバ製を見分けてから作業を行なう。

金色 → トヨタ製
黒色 → カヤバ製(カートリツジ式)

10

無断複製禁止

(2)トヨタ製リング　ナット脱着

①SSTを使用して，リング　ナットをゆつくり½～2回転ゆるめる。

SST　〔09721-00071〕

注意

ガスの圧力によりオイルが出てくることがあるので注意してゆるめること。

②ガスが完全に抜けたこと（ピストン　ロツドが下がる）を確認してからリング　ナットを取りはずす。

③組み付ける時はカートリツジ式用のリング　ナットを組み付ける。

(3)カヤバ製リング　ナット脱着

SST　〔09721-00071〕

5　ガスケツト(ロツド　ガイド用)取りはずし

(1)⊖簿刃ドライバを使用する。

6　シヨツク　アブソーバ脱着

(1)トヨタ製シヨツク　アブソーバ脱着

①ピストン　ロツドを握りシヨツク　アブソーバをASSYで取り出す。

②シエル内に残つたフルードを捨てる。

③カートリツジ式（カヤバ製）シヨツク　アブソーバを組み付ける。

(2)低圧ガス封入式シヨツク　アブソーバを廃却する場合は，ピストン　ロツドを伸ばした状態で垂直にし，上端より30～150㎜にϕ2～3㎜の穴をあけてガスを抜く。

注意

抜け出すガスは無色，無臭，無害であるが，ドリルの切り粉などが飛び出すこともあるので注意して作業を行なう。

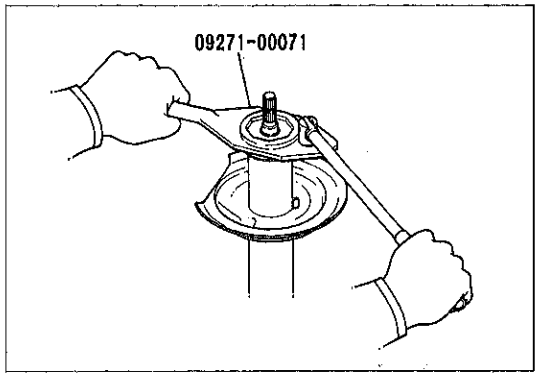


図10-1-2　リング　ナット脱着　B0737

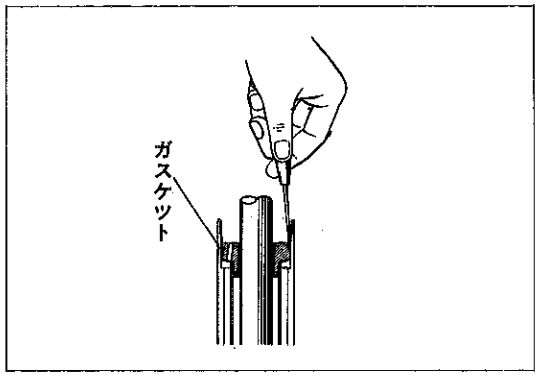


図10-1-3　ガスケツト取りはずし　M1283

無断複製禁止